



## 築城450年に向けて 三原城の堀を清掃



▲参加者全員で「450」の人文字を作って記念撮影しました

先月1日、三原城の天主台跡を囲む堀を清掃する「かいぼり」が行われ、公募で集まった市民など約320人が参加しました。

かいぼりは来年の三原城築城450年に向けて、市や経済同友会三原支部などが企画。堀に水を引き込む導水管を延長する工事のため、水が抜かれたのに併せて実施しました。

参加者は小雨の降る中、捨てられた空き缶やコンクリート片、陶器の破片などを、火ばさみや熊手で集めました。終了後、全員で「450」の人文字を作り、小型無人航空機ドローンで記念撮影しました。

市は現在、堀の浄化や周辺の整備を進めており、今年度中に事業を終える

見通しです。工事が完了し、きれいになった堀には大和町産のニシキゴイが放される予定です。

### 文化課

☎0848・64・9234

## 旧和木小校舎で リノベーションプロジェクト

県内の中山間地域で来年3月から開催される「ひろしまさとやま未来博2017」。その主要プロジェクトである「廃校リノベーション」で、県内3カ所の対象施設の一つに大和町和木の旧和木小学校が選ばれ、先月から旧校舎で改修計画などを検討するワークショップが始まりました。

先月8日に開かれた第1回のワークショップには、地元住民や県内の大学生など33人が参加。現在は一部が和木地域ふれあい交流センターとして使われている旧校舎内を見学し、グループに分かれて活用アイデアを出し合いました。

このプロジェクトは著名な建築家の隈研吾さんが監修し、地域の考えや若い世代の提案を元に廃校舎を改築。中山間地域の魅力を発信する新たな交流拠点として整備します。県内では旧和木小のほか、庄原市と江田島市でも同様の取り組みが行なわれています。

ワークショップは全4回で、今月中に開催される残り2回で改修案を取りまとめ、来年3月頃に改修工事を始める予定です。



▲「廃校リノベーション」が進められている旧和木小学校の校舎

### 地域調整課

☎0848・67・6184

## 事業を外部視点で点検 する事業レビューを実施

市は先月15・16日、市が実施している事業の必要性やコストなどについて、外部の視点で点検する事業レビューを実施しました。

大学教授や経営コンサルタントなどの評価者が、「防災」「男女共同参画」「住宅政策」「移住・定住」の4テーマ10事業について点検し、改善提案などを行いました。点検作業には無作為に抽出さ

れた市民の中から、応募のあった市民判定者24人も参加し、レビューの様子はインターネットでも生中継されました。

評価者と市民判定者からは事業へのさまざまな質問や提案があり、防災対策事業については評価者から「避難所などの表示に工夫が必要」などの提案がありました。

市は今後、指摘のあった事業について可能なものから事務改善やコストの見直しなどを行います。また、今回の指摘や提案を生かし、市の他の事業についても自己点検し、改善につなげていきます。

事業レビューの結果速報は市ホームページで確認できます。



▲4テーマ10事業について外部の評価者による点検作業が行われました

### 経営企画課

☎0848・67・6280